

歴史的砂防施設:地蔵堂堰堤(Zizoudo Dam)



SABO-DATA (CIGrMM)

所在地:神奈川県南足柄市矢倉沢
形式:不透過型重力式石積堰堤
管理者:神奈川県 県西土木事務所

溪流名:二級河川酒匂川水系内川
規模:高さ8.0m 堤頂長37.0m
完成年:1950年(昭和25年)



ランダム情報

南足柄市矢倉沢に位置し、酒匂川水系内川本川の中では、2番目に古い堰堤。
南足柄市は金太郎伝説ゆかりの地であり、堰堤周辺の地蔵堂地区には「金太郎生家跡地」などの史跡もある。
地蔵堂(お堂)から県道731号(矢倉沢仙石原)の坂を県道78号(御殿場大井)相沢橋方面へ70mほど下り「うるし亭(そば店)」の県道を挟んだ川側の空き地(うるし亭駐車場)脇から道路沿いに下れる。
人の踏み跡を辿っていくと、杉林を下り「相の川」との合流点付近で溪床に降りることが出来る。【危険度★】

こだわり技術

昭和23年のアイオン台風による土砂災害を受けて、昭和25年度に建設された堰堤です。
堰堤表面は雑割自然石の谷積で、緑豊かな自然に包まれた環境に調和しています。
常時、水が流れており、昭和30年度に建設された副堰堤と一体となった姿は、2段の滝のように美しく目を引きまします。
75年が経過した今でも大きな損傷なく力強く立ち続け、風雨に立ち向かいながら自然と調和を保ち続けています。